

テロ対策ネットワーク静岡

テロを許さない社会づくり～

令和8年No.2



[発行]
静岡県警察本部
警備部外事課
[TEL]
054-271-0110

「いつもと違う」「何か変だな」と感じたら迷わず通報を！

テロを未然に防ぐためには、皆様の「目」や「耳」が必要です。

米国・国家テロ対策センター（NCTC）が作成した「**U.S. VIOLET EXTREMIST MOBILIZATION INDICATORS**※」で示された「特異な動向」の一部をまとめましたので、「いつもと違う」「何か変だな」と感じたら迷わず警察に通報してください。



※ 出典：<https://www.fbi.gov/file-repository/counterterrorism/us-violent-extremism-mobilization-indicators-2025-pdf.pdf>

1 直前段階（テロの危険が差し迫っている状況）での行動

- 暴力的で過激な活動を実行、又は活動に参加するため、国内外を渡航する
- 動画や声明で自身の殉教意思や遺書を発信する
- 攻撃の予行演習を行う、又は標的への接近を試みる
- 標的、犯行時期、参加者の役割などの暴力行為の詳細を、対面又はオンラインで公表する
- 重要な資産や物品を不自然な方法で、拙速に、又は経済的損失を気にせずに処分する

2 準備段階（テロが近いうちに発生する可能性がある状況）での行動

- 特定の標的に合わせた爆発物を試作、実験を行う
- 過激派組織に加入、訓練へ参加するために、紛争地域への渡航を計画、準備する
- 潜在的な攻撃対象を調査する
- 違法、又は秘密裏に爆発性物質を入手する
- 暴力的過激主義者との間で、説明のつかない資金源や機材の授受をする
- 暴力行為の標的や戦術を決めるための調査を行う
- 暴力活動を可能とするため、機密情報にアクセス可能な職業に就く、又はアクセスできる人材に接触する

3 動機段階（暴力思想を形成、伝播している状況）での行動

- 政治的な問題などに関するニュース報道や思想信条上の問題を話し合うイベントに影響を受けて、特定の標的に対して暴力を行使すると脅迫する
- オンライン、オフライン問わず暴力的過激主義のコンテンツを制作、宣伝、利用する
- 家族や仲間などを過激化しようとする
- 標的に対する暴力を正当化するため、陰謀論に強くこだわる
- 暴力的で過激な教義やイデオロギーに言及することで家族や仲間などから孤立する



本年度から当ネットワークの幹事を務めさせていただくことになりました静岡県警察本部警備部長の「戸塚浩之」です。皆様のご理解とご協力をいただきながら、テロに強い安全・安心な社会の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、今後もよろしくお願いいたします。